

令和4年度 学生満足度調査分析報告書

1. 調査概要

- 実施対象: 学部学生
- 実施期間: 令和5年1月10日(火)~1月23日(月)
- 実施方法: ゼミナールの時間に, Forms を使ってアンケート実施・回収

2. 調査の結果と分析

(1) 学生満足度の概要(大変満足 10-0 大変不満までの 11 段階)

「設問 1. 本学に入学したことをどの程度満足していますか」とあわせて, 次の各項目について満足度の回答を回収した.

- A 授業について
- B ゼミナール
- C 施設・設備について
- D 教員について
- E 事務職員について
- F 友人との出会いについて

学科別・学年別の結果は次の通りである.

表 1 各項目の満足度(平均)

|      |    | 回答数 | 入学  | 【A】授業 | 【B】ゼミナール | 【C】施設・設備 | 【D】教員 | 【E】事務職員 | 【F】友人との出会い |
|------|----|-----|-----|-------|----------|----------|-------|---------|------------|
| 無所属  | 1年 | 184 | 5.8 | 5.9   | 6.3      | 5.8      | 6.0   | 6.7     | 6.7        |
| 経済学科 | 2年 | 78  | 5.8 | 5.9   | 6.9      | 5.7      | 6.0   | 6.7     | 6.2        |
|      | 3年 | 112 | 6.3 | 6.3   | 7.8      | 6.2      | 6.9   | 7.5     | 6.8        |
|      | 4年 | 106 | 6.5 | 6.4   | 7.8      | 6.4      | 6.8   | 7.1     | 7.2        |
|      | 小計 | 296 | 6.2 | 6.2   | 7.5      | 6.1      | 6.6   | 7.1     | 6.8        |
| 経営学科 | 2年 | 63  | 6.0 | 6.1   | 7.3      | 5.7      | 6.5   | 7.0     | 6.5        |
|      | 3年 | 69  | 6.2 | 6.4   | 7.6      | 6.0      | 6.6   | 6.7     | 6.2        |
|      | 4年 | 67  | 7.1 | 6.9   | 8.4      | 6.4      | 7.3   | 7.7     | 7.6        |
|      | 小計 | 199 | 6.4 | 6.5   | 7.8      | 6.0      | 6.8   | 7.1     | 6.8        |
| 経済学部 | 総計 | 679 | 6.2 | 6.2   | 7.3      | 6.0      | 6.5   | 7.0     | 6.8        |

表 1 より, 経済学部全体では, 「本学に入学したこと」, 「【A】授業」, 「【C】施設・設備」の学生満足度が他の項目よりやや低いことがわかる.

また, 学年が高いほど, 「本学に入学したこと」, 「【A】授業」, 「【B】ゼミナール」についての学生満足度(平均)が高い傾向が見られる. 特に「【B】ゼミナール」については, 低学年(1・2 年次生)よ

り高学年(3・4年次生)の方が満足度が高い傾向が見られる。このような傾向は学科に関係なく見られる。

## (2)回帰分析

表 2 は、「本学入学による満足度」について、他の項目の満足度(授業, ゼミナール, 施設設備, 教員, 事務職員, 友人との出会い)による回帰分析の結果をまとめたものである。

本学入学による満足度は、特に「【A】授業」の満足度が強く影響し、次いで「【C】施設・設備」の満足度が影響している。また「【A】授業」と「【C】施設・設備」の係数はある程度の大きさを持っているので、「【A】授業」の満足度や「【C】施設・設備」の満足度を高めることで、本学入学による満足度を高められる可能性を示唆している。

表 2 重回帰

| 変数          | 係数     | 標準誤差  | t 値    | P 値   | 信頼区間<br>上限 | 信頼区間<br>下限 |
|-------------|--------|-------|--------|-------|------------|------------|
| (Intercept) | -0.270 | 0.152 | -1.776 | 0.076 | 0.028      | -0.569     |
| 【A】授業       | 0.668  | 0.033 | 20.432 | 0.000 | 0.732      | 0.604      |
| 【B】ゼミナール    | 0.059  | 0.025 | 2.317  | 0.021 | 0.109      | 0.009      |
| 【C】施設・設備    | 0.190  | 0.024 | 7.982  | 0.000 | 0.237      | 0.143      |
| 【D】教員       | -0.063 | 0.036 | -1.777 | 0.076 | 0.006      | -0.133     |
| 【E】事務職員     | 0.076  | 0.026 | 2.942  | 0.003 | 0.126      | 0.025      |
| 【F】友人との出会い  | 0.091  | 0.017 | 5.372  | 0.000 | 0.125      | 0.058      |

被説明変数=本学入学による満足度

説明変数=各項目の満足度【A】授業,【B】ゼミナール,【C】施設・設備,【D】教員,【E】事務職員,  
【F】友人との出会い

## (3)より良い学校にするための提案(項目別自由記述)

「設問 2.より良い学校にするため何か提案があれば、項目を選び回答してください」について、次の項目から選んで自由記述の回答を回収した。

- ①授業について
- ②ゼミナール
- ③施設・設備について
- ④教員について
- ⑤事務職員について
- ⑥友人との出会いについて
- ⑦その他

表3は、設問2について提案の回答数(項目別・学年別)をまとめたものである。表3によれば、学生からの提案として最も回答数が多かったのは「施設・設備関連」(回答数 108)、次いで「授業関連」(回答数 35)である。

○「授業関連」の提案：試験・評価に関する事、授業内容・運営方法など

○「施設・設備関連」の提案：教室・校舎、食堂・売店の運営方法、ネットワーク環境など

表3 より良い学校にするための提案の回答数(項目別・学年別)

| 提案項目      | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計   |
|-----------|----|----|----|----|-----|
| ① 授業関連    | 13 | 5  | 9  | 8  | 35  |
| ② ゼミナール関連 | 1  | 1  | 0  | 0  | 2   |
| ③ 施設・設備関連 | 26 | 23 | 37 | 22 | 108 |
| ④ 教員      | 2  | 0  | 1  | 3  | 6   |
| ⑤ 事務職員    | 1  | 0  | 1  | 4  | 6   |
| ⑥ 友人との出会い | 3  | 2  | 5  | 2  | 12  |
| ⑦ その他     | 4  | 3  | 5  | 1  | 13  |

### 3. 考察

上(「2. 調査の結果と分析」)で見た通り、「(1)学生満足度の概要」において「授業」及び「施設・設備」は他の項目より学生満足度が低いが、それに対応して、学生たちからの提案(改善案)が多いと見られる。また、「(2)回帰分析」において指摘の通り、「本学入学による満足度」は「授業」及び「施設・設備」の満足度と強く関係しており、学生たちからの提案(改善案)には耳を傾け、大学として可能な範囲で対応をおこなうべきと考える。

授業に関しては、既存の授業の改善要請だけでなく、新しい授業内容・形態を要望する声もあり、それを新カリキュラムの改定時に検討する等をおこなうべきだろう。施設・設備については、学生たちの要望を踏まえた対応をおこなっていくことが求められる。

以上